

世界から人環へ・人環から世界へ

No. 18 April 2023



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニューズレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けます。また、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。ただし、2020年度と2021年度は世界的なコロナ禍で交流活動がやむなく制限された例外的な年でありました。

年度	2018	2019	2020	2021	2022
招聘研究員 (客員教授・准教授)	4	5	1	1	5
招聘外国人学者	3	6	1	0	5
外国人共同研究者	10	6	1	3	2

表1 外国人研究者受入れ数(渡日時年度) (人)

2022年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです(名前の後の()内は国籍/所属・身分)。

招聘研究員(客員教授・准教授)

- Marco Giovanni BETTINELLI 先生(イタリア/Verona 大学・教授)
- Jean-Marc LEVEQUE 先生(フランス/Savoie 大学・教授)
- Irfan AKTAN 氏(トルコ/ジャーナリスト)
- Haitham Mahmoud SHARQAWY 先生(エジプト/ジャヌーブ・アル・ワーディ大学・専任講師)
- Ali Volkan ERDEMIR 先生(トルコ/エルジェス大学・教授)

招聘外国人学者

- Dieter Gilberto HILLERT 先生(ドイツ/サンディエゴ州立大学・兼任教授)
- Alexander Niko ZAHLTEN 先生(米国・ドイツ/ハーバード大学・教授)
- 賈 璐 先生(中国/広東外語外貨大学・副教授)
- Michal KONEČNÝ 先生(チェコ/アストン大学・講師)
- Haitham Mahmoud SHARQAWY 先生(エジプト/ジャヌーブ・アル・ワーディ大学・専任講師)

外国人共同研究者

- 杜 娟 博士(陝西師範大学・助理研究員)
- 王 璐 博士(西安博物院・助理館員)

国際交流セミナー

人間・環境学研究科では、常時数名の招聘研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第 79 回 2022 年 5 月 25 日

演者 マルコ・ジョバンニ・ベッティネッリ 先生
(Prof. Marco Giovanni BETTINELLI)
イタリア／Verona 大学教授

演題 Life and Ideas of Galileo GALILEI
(ガリレオ・ガリレイの生涯と思想)



第 80 回 2022 年 6 月 30 日

演者 ジャン・マーク・レヴエック 先生
(Prof. Jean-Marc LEVEQUE)
フランス／Savoie 大学教授

演題 Discovery of Sonochemistry
(音響化学って何？)



第 81 回 2022 年 7 月 8 日

演者 イルファン・アクタン 氏
(Mr. Irfan AKTAN)
トルコ／ジャーナリスト

演題 WHO are the KURDS?
(クルドとは何者か？)



第 82 回 2022 年 7 月 19 日

演者 ハイサム・マフムード・シャルカウィ 先生
(Dr. Haitham Mahmoud SHARQAWY)
エジプト／ジャヌーブ・アル・ワーディ大学専任講師

演題 Stories of Travel in Arabic & Hebrew Literatures
in the Middle Age
(旅と語り：中世アラビア語およびヘブライ文学を中心に)



第 83 回 2022 年 11 月 30 日

演者 アリ・ヴォルカン・エルデミール 先生
(Prof. Ali Volkan ERDEMIR)
トルコ／エルジェス大学教授

演題 トルコと村上春樹



学生の海外留学

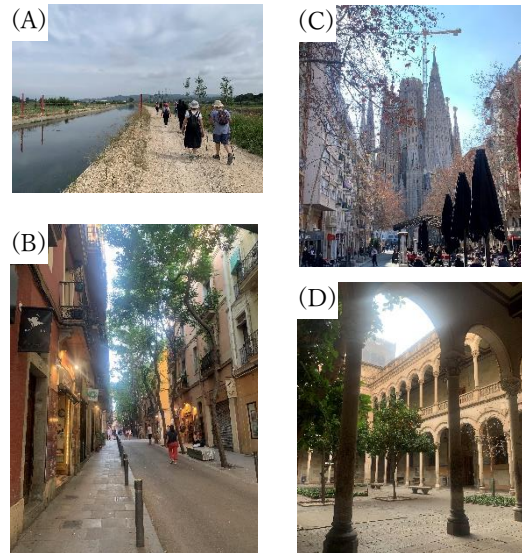
海外留学には、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得課程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学国際教育交流課発行「海外留学の手引」を参考にして下さい）。以下、昨年度留学をした2人をご紹介します。（説明は、①留学先、②留学先の所属(身分)、③研究テーマ、④奨学金、⑤留学期間、⑥メッセージ）

谷口 由樹子さん（外国語教育論講座・修士2年生）

① スペイン ② バルセロナ大学 言語・コミュニケーション学部 修士課程（交換留学生） ③ FL 環境における成人向け外国語教授法 ④ なし（京都大学からの渡航費助成のみ）⑤ 2022年2月～2022年6月 ⑥ 私の専門言語はスペイン語なのですが、現地で「外国語としてのスペイン語教育」がどのように考えられており、そして実践の場にどう活かされているのかを、直接的に経験できたことが大きな成果でした。また複言語・多言語のバルセロナ社会に生きる人々が持つ言語観に触れることができ、現地にいるからこそ見えたものがたくさんありました。

細井 太智さん（数理科学講座・修士2年生）

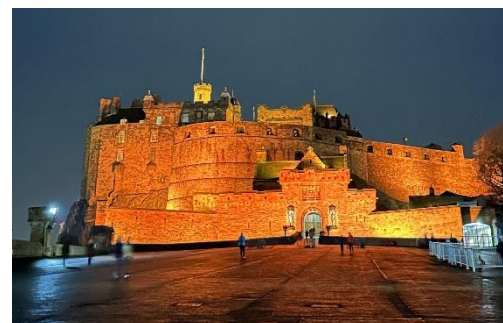
① イギリス(スコットランド) ② The University of Edinburgh (Visiting Research Student Programme, 客員研究学生) ③ 人工知能によるスポーツ動作認識について ④ トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム ⑤ 2022年2月～2023年2月 ⑥ "研究留学"ですので、自身の研究テーマで結果を出すことに加えて、日本ではできない経験や価値をいかに生み出すかを常に考え、実行し続けた1年間でした。控えめなイメージのある日本人ですが、私は留学中は99%の返事でYesを出し続けました。結果として現地でしかできない経験を山のようにできた実感があります。



(A) エブロ川（エクスカージョン）(B) 住んでいた通り (C) 街の様子（サグラダファミリア教会）
(D) 大学キャンパス



通った研究棟，Bayes Centre の風景



夜のエジンバラ城

外国人留学生

人間・環境学研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。京都大学全体では 2022 年 5 月 1 日現在、2,568 名の留学生が在学し、そのうち 188 名が本研究科で学んでいました（表 2 参照）。これは本研究科の全在学生 660 名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生を含む）の約 28% に当たり、また、その出身地は 18 の国及び地域に及んでいます（表 3 参照）。

表 2 留学生受入れ数

（各年度 5 月 1 日現在）

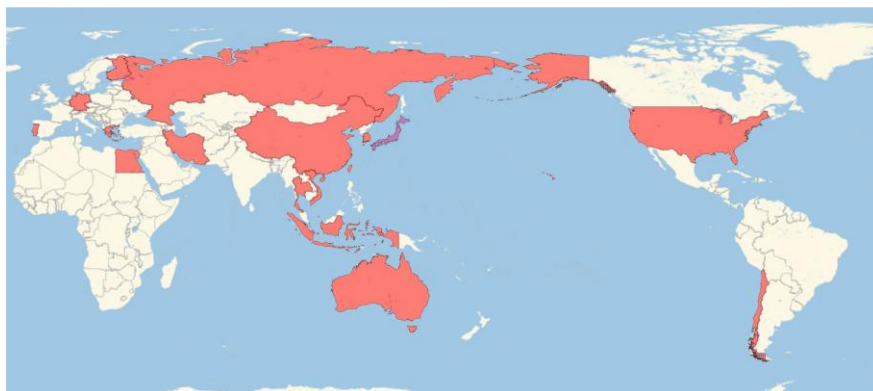
年度	2018	2019	2020	2021	2022
修士課程	71	96	86	78	79
博士後期課程	70	76	79	81	85
非正規 (研究生・特別研究学生 特別聴講学生)	18	21	19	13	24
合計	159	193	184	172	188

表 3 留学生出身国地域別人数

（2022 年 5 月 1 日現在）

中国	150	オーストラリア	1
韓国	10	ギリシャ	1
台湾	8	タイ	1
米国	3	ドイツ	1
インドネシア	2	フィンランド	1
チリ	2	ベトナム	1
ロシア	2	ポルトガル	1
イラン	1	マカオ	1
エジプト	1	マレーシア	1

計 188 人



◆ URL

<https://www.h.kyoto-u.ac.jp/international/>

◆ 問い合わせ先

- 国際交流委員／留学生アドバイザー
Matthew de Brecht (マシュー・ディブレクト)
Email: jinkan_ryugaku@h.kyoto-u.ac.jp

- 京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2951/2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp